



令和4年度 第3回FCP若手フォーラム 開催後参加者アンケート

1. アンケート調査について

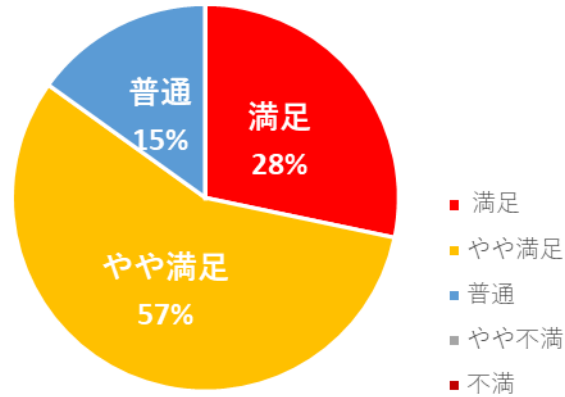
目的	次回以降及び、翌年度の若手フォーラムの運営や進め方、その他FCP活動の参考とするため、今回若手フォーラムに参加して感じたことや内容・進め方についてアンケート調査を実施
調査対象	令和4年度 第3回若手フォーラム参加者 34社69名（第3回参加者63名）
有効回答者数	53名（回答率：84.1%） ※小数点第2位四捨五入
方法	インターネットによる調査（農林水産省 FCPホームページより回答）
調査内容	◇講演について（満足度及び意見） - a)「フードシステムの循環経済化と食品ECのビジネスモデルについて」（5段階評価及び自由記入） - b)「セブン&アイグループのESGの取り組み「GREEN CHALLENGE 2050」達成に向けて」（5段階評価及び自由記入） ◇ワークショップについて（満足度及び意見） - a)テーマは適切であったか（5段階評価及び自由記入） - b)議論や講師からのフィードバックは参考になったか（5段階評価及び自由記入） - c)ワークショップ振り返り（自由記入） ◇WEB形式でのフォーラムについて、またWebex meetingsの使用感について（自由記入） ◇時間配分について（自由記入） ◇その他若手フォーラムに関する意見（自由記入）

2. アンケート結果（講演について）

a) <講義>フードシステムの循環経済化と食品ECのビジネスモデルについて

①評価（5段階評価）②ご意見、ご感想（自由記入）

フードシステム循環経済化と食品ECの
ビジネスモデルについて

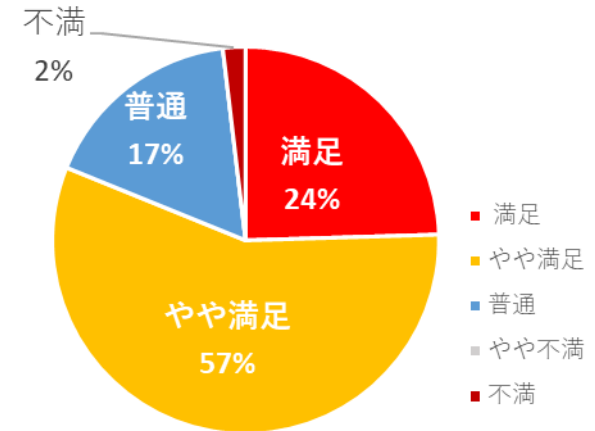


- ・食品ロス削減・循環経済化について、設計の段階から循環の仕組みを組み込むこと、食品ロス発生とは切り離してCSRとして取り組むこと、ブランド毀損にならない工夫など、考え方の更新がまず必要であると感じました。
- ・商品・サービスの設計段階から「循環」の観点を組み込むことが重要であるという点が大きな学びでした。
- ・子ども食堂やフードバンクへの寄贈はあくまでメーカーが未使用食品の提供を行うものという認識でしたが、冷蔵・冷凍設備の不足という大きな問題があるとの話を聞いて、倉庫・物流・小売などサプライチェーンに携わる多くの企業が貢献できる、取り組んでいく必要があることが分かりました。
- ・食品マッチングでプラットフォーム有利の状況と現在多様なプラットフォームが乱立していることは社会の意識変化を感じるが、まだ整理されていない点も多いと感じ今後の動きに注意していきたいと思った。

b) <講義>セブン&アイグループのESGの取り組み「GREEN CHALLENGE 2050」達成に向けて

①評価（5段階評価）②ご意見、ご感想（自由記入）

セブン&アイグループのESGの取り組み『GREEN
CHALLENGE2050』達成に向けて

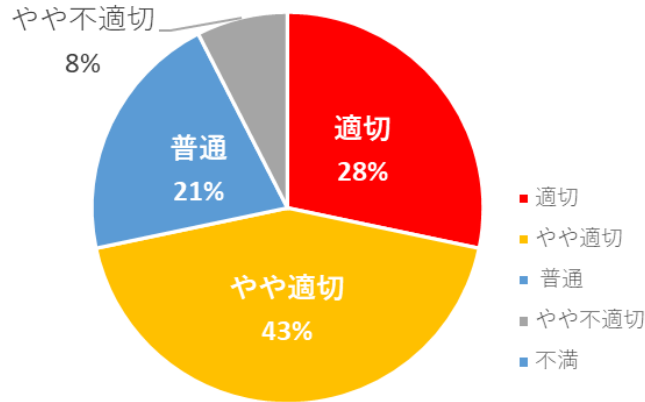


- ・目標に向けて、しっかりと初期投資をして実行に移せている点がさすがだと感じました。店舗へ太陽光パネルを設置することでCO2削減＋電力コスト削減、商品のトップシール化でプラ削減＋賞味期限延長など、環境負荷低減とともに他のメリットを組み合わせることが大事だと感じました。
- ・具体的な目標値を定めて共有化することによって、従業員だけでなく企業を取り巻く様々な方に目標達成にむけて協力していただく、という姿勢を見習わなくてはならないと感じた。
- ・グリーンチャレンジ2050に向けてグループ横断で競い合いながら進めているという点は、グループの強みを非常によく生かした取り組みだと思いました。またセブンイレブン店舗の取り組みについて、費用がかかるためオーナーの方から嫌がられるのでは？という質問に対し、むしろ集客になって売上が上がるというのは個人的に驚きでした。

2. アンケート結果（ワークショップ：サーキュラーエコノミーの取組）

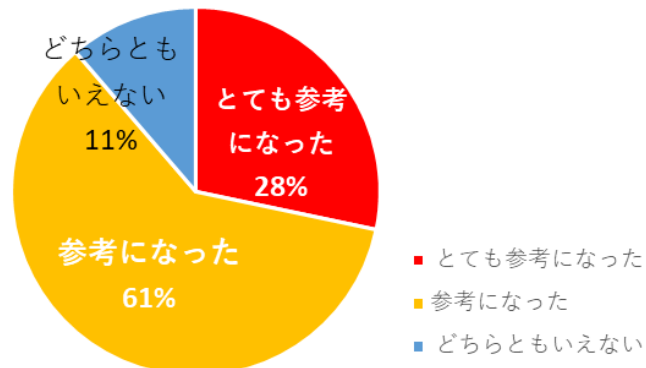
a) テーマについて 評価（5段階評価）

ワークショップの難易度



b) 議論やフィードバックについて 評価（5段階評価）

ワークショップのディスカッション、
講師のフィードバックは参考になりましたか



（WSの難易度・時間配分に関する意見）

- ・前回と同じ流れであったので、進めやすかったです。
- ・ワークショップはテーマから事前にある程度絞らないと時間がないように思えた。
- ・全員がウェブを通じての話し合いは初めてでしたが、リーダーの進行のおかげで一人一人が積極的に発言できました。話し合うテーマについて、共有ができていない部分があったので、次回は事前にテーマについて話し合える場を設けることで、本番のワークショップでは深い話し合いができると思いました。

（WSに関する意見）

- ・活発に議論が盛り上がるテーマであり、有益な時間を過ごせました。
- ・テーマ設定やあるべき姿について、いろいろと議論でき良い経験となりました。つい出来そうなことを考えてしまいますが、もう一つ先の実現出来たら良いことをより考えていきたいです。
- ・立場によって考えなければいけない課題が異なることや、さまざまな切り口からの討論をうまくまとめる良い道しるべとなって頂きました。
- ・ディスカッションの在り方という、ディスカッションの内容以外の改善点を示して頂けるので非常に有り難いです。

（WSを振り返って）

①ディスカッションのテーマに何を選びましたか

バイオガス発電 / 資源廃棄0の社会 / サーキュラーエコノミーの実証実験を行う街づくり / ポイントやアプリの活用 / 消費者と企業のWINWINな関係、そのほか

②テーマに対して深堀は出来たか、またチームメンバーの意見を聞いてどんなことがポイントであると感じたか

- ・コミュニケーションと教育活動が重要であると感じた。
- ・事業者として回収することがメリットとなるようなサービスの形態を考えると消費者とwin-winな関係ができ、持続可能なものになっていくのではないかと感じました。
- ・メンバーの意見を聞いて、どのテーマであっても取組は何のためにやるのか（目的の明確化）、取組後の有効性確認の必要性は重要だと感じました。
- ・事前課題以外に事前にアイデアだしを各自で行っていたので、前回よりも時間をうまく使って深堀することができた。消費者が意識なくても自然と環境に配慮のある仕組みを作ることがポイントだと感じた。
- ・自分自身テーマに対しての答えを考えてしまっ上手く発言出来ていなかったの、皆の意見を聞いて、答えじゃなくて良いんだ、手探りでも思ったことを言葉にすることが大事だと感じた。
- ・深堀はできたかと思うが、事前に「できるできないは関係なく話し合う」という形だったが、現実的に可能かどうか議論されてしまう場面があったので少し残念でした。

③今後自分が取り組みたいと考えることは何か

- ・何らかの教育活動にチャレンジしていきたいと感じる。
- ・まずは自社のサステナブルな活動を知り、私に関われることはないか探そうと思う
- ・他の事業者と協働で、消費者に向けたサービスを考えていきたい。

2. アンケート結果（その他）

a) WEB形式でのフォーラムについて、またWebex meetingsの使用感について（自由記入）

- ・フォーラム自体で困った点は特にないがメンバーとの交流を深めるという点では不満がある。
- ・今までもWEB参加だったものの、全員がWEB参加になると話しづらさを感じた。
- ・話を切り出すタイミングが特に難しかったです。
- ・ハイフレックスよりもWEBだけの方がやりやすかった。
- ・話し合いの進行は少々遅くなるものの、対面・オンラインに差がなくなり発言の頻度が参加者間で同じくらいになった気がします。
- ・zoomよりも使いやすかった。
- ・Webex初めてだったので、慣れるまで時間がかかりました。

事務局への意見・要望等について（自由記入）

（時間配分について）

- ・事前の打ち合わせに参加していたこともあり、問題なく進めることができた。リーダーは参加必須を継続すべきと考える。
- ・ディカッションの時間が十分とれ、よかったと思います
- ・ディスカッションの時間は少なく感じた。事前にしっかりすり合わせをしておかないと方向性を決めることにで時間を使ってしまう。
- ・それぞれ意見を出した後、集約→テーマを事前に決めておかないとWSの時間で収まらないと感じる一方、リーダー負担が大きいのではと考えています。
- ・発表時間について、意識はしていましたが、残り時間のアナウンスがあると気づきやすいです。
- ・フォーラム後に交流を深める時間がありましたが、その時間も少しフォーラム時間内に入れて頂けるとより交流が深まるのではないかと思います。
- ・フォーラムがかなりの長時間だったので、業務上交流会には参加できませんでした。もう少し短縮できると嬉しいです。

（その他）

- ・今回からチーム・チーム外との交流時間があり良かった。
- ・任意の交流時間については人が少なく、最終的に2チームになってしまったのは残念でした。
- ・交流時間ですが、WEBで個人対全員での会話となると役割が無いと逆に話にくく、沈黙する時間が何度かありました。簡単なお題などを出してもらった方がWEBの場合は話しやすいかと思います。
- ・交流時間は何を話せばいいのか分からず、あまり意義を見出せなかった。
- ・事前にメールで打ち合わせを行いましたが、意見交換ツールとしてメールは使いにくいいため、チャットを活用できると良いなと思いました。
- ・意見交換ができる場所を設ける（メール、グループチャット等）



第4回以降の進め方

第4回若手フォーラムについて

■日時・形式

11月29日（火） **12:30～16:30 三番町共用会議所(最寄駅：九段下)** ※ハイフレックス形式を予定

■事前課題について ※具体の期日は課題を出す際にお知らせします

※第4回は今までよりもスケジュールがタイトになることから、事前課題の進め方を変更いたします

①【**10月上旬～10月中旬頃**】ワークショップ事前課題Ⅰ（ピンク色のフォーマット・**個人**課題）

・事前課題Ⅰは**事務局**に提出→チーム毎に集約し共有します

②【**10月下旬～11月上旬中旬頃**】ワークショップ事前課題Ⅱ（水色フォーマット・**チーム**の目標設定）

・集約された課題を参考に、**取りまとめフォーマットの『Ⅰ.食品事業者として目指すべき未来像（目標の設定）』**をチーム内でメール等で相談して1つに決める

・**リーダーは設定した目標を取りまとめフォーマットに記入し、事務局に提出**

③【**11月上旬～当日まで**】最終成果物テーマ決め

・第4回のブレイクタイムで、各チーム最終成果物のタイトル・テーマ・形式（案）を話し合ってもらいますので、話し合いが円滑に進むように前述の内容を各自で考えてください。

・フォーマット等事前提出の必要はなし（第4回終了後に提出いただきます）

■今後の打ち合わせ・開催スケジュール等について

・第4回事前打ち合わせ：10月中下旬に実施 ※WEB形式・60分程度を予定

・最終成果物作成のための説明会：11月上旬に実施 ※WEB形式・60分程度を予定

・第5回若手フォーラム：1月25日（水）：A～Dチーム、26（木）：E～Hチーム

※**第5回は2日程で分散開催、各日終日開催予定です。ハイフレックス形式を予定**

・活動報告会：2月中下旬で調整中 ※ハイフレックス形式を予定

※FCPにおける勉強会は全てzoomを使用する予定ですが、開催をオールWEB形式にした際には、webexでの開催に切り替えさせていただく場合がございます。そのため、出来る限りでデスクトップアプリのダウンロードをご協力ください

よりよいワークショップのために

- ・話を切り出すタイミングが難しいという意見もあるので、**リーダーは積極的に指名**してディスカッションを回しましょう。
 - ・ワークショップは**毎回同じ流れ**で進められるように設定してあります。慣れると進めやすいと思います。
 - ・ワークショップは、テーマを事前にある程度絞らないと時間が足りないので、**取りまとめフォーマットのテーマまで事前課題**とすることにしました。
- さらに、事前にテーマについて話し合っておくと当日深く話し合いができるので、できる範囲で**事前のコミュニケーション**をお願いします。

💡 ワークショップでの考え方について参加者からの声：

- ・テーマに対しての答えを考えてしまって上手く発言出来なかったのですが、皆の意見を聞いて、答えじゃなくて良い、手探りでも**思ったことを言葉にすることが大事**だと感じた。
- ・「できないは関係なく話し合う」はずが、現実的に可能かどうか議論されてしまう場面があった。
つい出来そうなことを考えてしまうが、**もう一つ先の実現出来たら良いな**ということを考えていきたいです。

💡 チームファシから学んだこと：

- ・立場によって考えなければいけない課題が異なること
- ・さまざまな切り口からの討論をうまくまとめる道しるべ
- ・ディスカッションの内容ではなく、ディスカッションの在り方に対する改善点



☆ **チャットの活用や適切なタイムキープ**により、効率よくWSを進めましょう。

☆ **こんなやり方がやりやすかった！** などアイデアがあればぜひ事務局や他チームへ共有してください！